

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 31 日（水） 14：00～15：47

場 所：南角田公民館

出席者：7 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談
5. その他
(1) 地域の防災対策について（資料④）
※質疑応答
6. 閉会

《懇談会内容》

質疑：継立中学校跡地への企業誘致が難しい場合は更地にするのか。

町長：更地にすることは考えていない。一昨年にプロポーザルを行った際には、家畜での観光事業を行いたい企業から応募があり、審査時には地域の代表者にも参加いただいたが、家畜の臭いの問題などがあり不採用と判断した。現在、他の企業からの相談も受けており、募集基準を見直して再募集をかけたい。ネックとなるのは土地の広さや校舎の老朽化。雇用が生まれるような企業に来てもらいたい。

質疑：企業を誘致した場合の大型車の往来増加や、農地が近くにありトラクターが往来することもあるが、小学生の通学時の安全は守られるのか。グラウンド側にある道路は通れなくなるのか。

町長：企業誘致の際はそれも含めて検討する。グラウンド側の道路は分筆して残すようにしている。

意見：近年、ゲリラ豪雨など予期せぬ大雨が増えてきたが、基盤整備地は構造上こういった大雨を飲み込み切れない。このことに対しての対応を検討して欲しい。

町長：国へ要請していきたい。

意見：栗山は開業医が少なく医師の高齢化も進んでいる。その一方で介護施設やサービス付き高齢者向け住宅は充実している。日赤はどのように充実化するのか。緊急医療の強化、広域化など役立つ機能を検討してほしい。建物整備はいらないと思う。広域化は近隣との実務者レベルでの話し合いは行われているのか。連携協力をしてほしい。

町長：日赤の建て替えは、病床数136床で約55億円かかる試算をしている。これには町が国から40億円の借入(30年償還)を行うことで、7割は交付税算入される見込み。しかし、今の財政状況の中、改築が可能なのか議論が必要。耐震問題もあり早急な判断も必要となっている。広域による医療体制もできるものなら進めたいという思いはあるが、各町でも総合病院は核となる施設であり、手放すのは難しいと考えており、政治的な判断が必要となる。まずは町の規模にあった病床数を考えた上で、日赤との交渉を行い、どの時点で踏み切れるのかを判断したい。近隣との実務者レベルの話し合いは行っている。

意見：懇談会の説明が多すぎて、質疑の時間が少ない。説明する内容をもっと絞ってほしい。